

高等学校 令和8年度 教科

理科 科目 生物

教科： 理科 科目： 生物

単位数： 6 単位

対象学年組：第 3 学年 選択者

教科担当者：（ 遊佐 ）

（ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 第一学習社 ）

- 教科 理科 の目標：
- 【知識及び技能】 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な自然の現象に対して仮説を立てることができる。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 グループワークや実験において積極的に取り組むことができる。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生命現象や、自然の事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生命現象や、自然の事物・現象について疑問に思ったことを、他者と共有する中で、新たな発見や課題を見つけ、それに対して探究することができる。	生命現象や、自然の事物・現象に対して積極的に関わり、それらに対する気付きから仮説を立て、自ら課題解決を図ろうとする。生命を尊重し、自然環境の保全に努めようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	生物の進化 ・生命の起源と細胞の進化について、理解する。 ・遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化について、理解する。 ・進化のしくみについて、理解する。 生物の系統と進化 ・生物の系統について、理解する。 ・人類の系統と進化について、理解する。	生物の進化 ・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 ・進化のしくみ 生物の系統と進化 ・生物の系統 ・人類の系統と進化	【知識・技能】 ・生物の進化を地球環境の変化と関連付けて理解している。 ・生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物の進化と地球環境の変化との関連に気付くことができる。 ・アミノ酸配列の違いにもとづいて生物の系統関係を推定することができることに、気付くことができる。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	細胞と分子 ・生物物質と細胞について、理解する。 ・タンパク質の構造と性質について、理解する。 ・生命現象とタンパク質について、理解する。 代謝 ・代謝とエネルギー ・炭酸同化 ・異化	細胞と分子 ・生物物質と細胞 ・タンパク質の構造と性質 ・生命現象とタンパク質 代謝 ・代謝とエネルギー ・炭酸同化 ・異化	【知識・技能】 ・細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・外的条件が酵素に与える影響を検証する検証計画を立案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・前向きに授業に取り組み、家庭でも学習に取り組むことができる。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
2 学 期	遺伝情報とその発現 ・DNAの複製について、理解する。 ・遺伝子の発現について、理解する。 遺伝子の発現調節と発生 ・遺伝子の発現調節について、理解する。 ・発生と遺伝子の発現調節について、理解する。	遺伝情報とその発現 ・DNAの複製 ・遺伝子の発現 遺伝子の発現調節と発生 ・遺伝子の発現調節 ・発生と遺伝子の発現調節	【知識・技能】 ・DNAの複製のしくみを理解している。 ・転写の調節をタンパク質と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・遺伝子の発現が調整されることで、胚の領域ごとに異なる遺伝子が発現することについて、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・前向きに授業に取り組み、家庭でも学習に取り組むことができる。	○	○	○	41
	定期考査			○	○		1
	遺伝子を扱う技術とその応用 ・遺伝子を扱う技術について、理解する。 ・遺伝子を扱う技術の応用について、理解する。 動物の反応と行動 ・刺激の受容と反応について、理解する。 ・動物の行動について、理解する。	遺伝子を扱う技術とその応用 ・遺伝子を扱う技術 ・遺伝子を扱う技術の応用 動物の反応と行動 ・刺激の受容と反応 ・動物の行動	【知識・技能】 ・遺伝子を扱う技術の原理と有効性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・細胞への遺伝子導入について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・前向きに授業に取り組み、家庭でも学習に取り組むことができる。	○	○	○	32
	定期考査			○	○		1
3 学 期	植物の成長と環境応答 ・植物と環境について、理解する。 ・植物の一生と植物ホルモンについて、理解する。	植物の成長と環境応答 ・植物と環境 ・植物の一生と植物ホルモン	【知識・技能】 ・植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ダイコンの芽生えがリンゴの果実から受ける影響について仮説を設定し、実験結果をもとに仮説を検証することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・前向きに授業に取り組み、家庭でも学習に取り組むことができる。	○	○	○	29
	生態系のしくみと人間の関わり ・個体群と生物群集について、理解する。 ・生態系の物質生産と消費について、理解する。 ・生態系と人間生活について、理解する。	生態系のしくみと人間の関わり ・個体群と生物群集 ・生態系の物質生産と消費 ・生態系と人間生活	【知識・技能】 ・個体群が維持されるしくみや個体間の関係性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・個体群の変動に影響を与える要因を見だし、仮説を設定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・前向きに授業に取り組み、家庭でも学習に取り組むことができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計 175